

9/16 朝日

## コロナ予備費3.7兆円繰り越し

### 20・21年度 検査院「経緯示すべきだ」

会計検査院が2020年度と21年度に政府が新型コロナウイルス対策としてあてた予備費を調べたところ、国土交通省など6府省18事業に配分された約3兆7千億円の金額が翌年度に繰り越されていたことがわかった。検査院は「多額の繰り越しが生じる場合は経過などを丁寧に示す必要がある」と指摘している。

参議院の要請を受けて検査院が調べ、15日に公表した。予備費は自然災害など「予見しがたい予算の不足」に対応するため、使い道を決めずに計上する予算。国会の事前審議なしで政府が自由に使えるため、「不透明」との批判が出ている。

兆9819億円のうち4兆7964億円が翌年度に繰り越されていた。21年度は新たに4兆6185億円がついたが、7282億円が繰り越されていた。このうち国交省や内閣府の6府省18事業は、全額3兆7310億円が繰り越されていた。検査院は各省庁に予備費の執行状況を公表するよう求めるとともに「全額を翌年度に繰り越した場合は決定時の想定も繰り越しに至った経緯を丁寧に示すべきだ」と指摘している。（國田英史）